

## 校種・地域をこえた人権教育の連携とつながり

南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会人権教育部会（研修会）in 南丹高校

### ●1年公開授業 テーマ「いじめ」 教材名「見上げた青い空」



5校時は学年一斉で人権学習教材映像「見上げた青い空」を視聴。



6校時は各クラスに分かれて学習しました。

平成28年11月17日（木）幼小中高連人権教育部会（研修会）が行われました。

今年度は、府立南丹高等学校を会場に、管内幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の先生方約25名が参加のもと、「いじめ」をテーマとした1年生全6クラスの人権学習授業参観及び交流協議が実施されました。

### ●交流協議 テーマ「公開授業及び人権教育の取組説明から自校・園に活かせること」

交流協議では、はじめに南丹高校における人権教育の取組について、担当教諭から説明がありました。

人権新聞「リバティ」の発行や「同和問題」をテーマとした人権学習等について分かりやすく説明いただきました。

後半はグループに分かれて、公開授業や各校・園における人権教育・人権学習の取組等について意見が交わされました。

参加者からは、人権学習における事前の教材研究や校種間の連携・つながりの大切さについて等、活発に意見が出され、有意義な交流協議が行われていました。



南丹高校人権教育担当者から人権教育の取組について説明いただきました。



交流協議では、校種や地域をこえて活発な意見交換が行われました。



### 参加者からの感想



高校の人権学習を観る機会はほとんどなく、とても新鮮でした。生徒の実態をしっかり分析された授業でした。「いじめ」は重要な人権問題であり、どの校種においても継続的に取り組む必要性をあらためて感じた。

「いじめ」についてのタイムリーな教材の選択や、6校時のIT授業、教材研究と教職員研修など、大変参考になることが多かった。幼・小・中・高それぞれの校種の先生から児童生徒の実態や取組について話を聞き、連携の大切さを実感した。

高校生という難しい時期の生徒を、先生方がチームを組んで教材研究をされ、しっかり指導されている様子を見ることができた。グループに様々な校種の先生方がおられ、人権教育・集団づくりについて多様に学ぶことができた。グループ協議では、支援学校の先生からは、様々な指導法について教えていただき、大変参考になった。

いじめはダメと分かっているけど、勇気がなかったり友達との関係が恐かったり、複雑な思いを生徒が持っていることを感じた。公開授業や各校の取組を聞き、あらためて幼児期に育てておかなければならないことを考える機会になった。遊びをとおして、意欲や人と関わる力、自己肯定感を育てていくことなど、大切にしていきたいと思う。